令和８年10月末現在における山岳遭難の発生状況（※暫定値）

年	発生件数（件）	遭難者数（人）				
			死者	行方不明者	負傷者	無事救出
R8	**39**	**48**	**2**	**0**	**32**	**14**



鹿児島県内における山岳遭難の発生状況（令和３年～令和７年）

年	発生件数（件）	遭難者数（人）				
			死者	行方不明者	負傷者	無事救出
R７	**38**	**41**	**2**	**0**	**19**	**20**
R6	42	48	3	1	20	24
R5	41	47	3	2	20	22
R4	26	27	2	0	12	13
R3	32	34	2	0	17	15

【令和７年の発生状況】

遭難者総数41人中

○　場所別では

屋久島山系が21人で最多、次いで開聞岳が10人、霧島山系が２人、その他の山岳が８人

○　態様別では

道迷いが12人で最多、次いで転倒が８人、疲労が５人、その他病気など16人

○　年齢層別では

60歳代が９人で最多、次いで20歳代が８人、70歳代・40歳代が各７人、50歳代が５人、80歳代が２人、30歳代・10歳代・10歳未満が各１人となっています。

